

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

団体名	一般社団法人フリースペース道	
代表者名	代表理事 高橋雅道	
連絡先 TEL : 090-8561-4267 FAX :	E-mail osakiforchildren@gmail.com	

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	不登校・多様な学びを考える親の会
事業の目的	令和 3 年の文部科学省調査によると、全国の不登校児童生徒数約 25 万人となり、近年急増しています。宮城県内でも 5,000 人を超える子どもたちが不登校の状態にあります。 喫緊に取り組むべき課題にも関わらず、未だ悩みを抱えるご家庭が多く、不登校に関する社会的な理解も不足しています。 今回、「不登校・多様な学びを考える会」を開催することで、不登校で悩んでいる保護者の方のつながりをつくるだけでなく、不登校の課題に関心のある方も出席していただき、理解を広げていくことを目的とします。
事業の具体的内容	親の会は 2 部構成で行いました。 前半は不登校に関する活動をされている講師の方をお迎えして講演会を行い、後半は参加者の方々と座談会を開き、様々な立場の方を交えて意見交換を行い、不登校に関する理解を深めました。 会の開催を通して、不登校で悩んでいる保護者の方同士がつながり、精神的な安定につながれること、会に参加された方々が不登校理解についての発信者となり、今後地域への理解がさらに広がることを期待します。
活動の開始から完了までの流れ	■5 月 21 日（日）大崎市地域交流センターあすも研修室 講師：遠藤さち子氏（親子の居場所 Clover 代表） 参加人数：21 名

	■6月18日（日）大崎市図書館 研修室 講師：田中雅子氏（認定 NPO 法人こども∞感ばに一代表理事） 参加人数：23 名 ■7月23日（日）中新田公民館 研修室 講師：星潤子様、星大和様（不登校当事者の親子） 参加人数：10 名 ■9月23日（土）大崎市地域交流センターあすも研修室 講師：安部菜摘氏 参加人数：15 名
活動の成果と教訓	今回の親の会は、助成期間内に合計 4 回開催し、参加人数のべ 69 名でした。 参加者は、不登校当事者の保護者の他、教育委員会、行政関係者、市議会議員、スクールカウンセラー、学校教員など、様々な立場の人が集まって開催できました。保護者同士は、今までだれにも相談できずに孤立していた方が多く、会に参加することで同じ悩みを抱えた人たちと一緒に話をしたり、会のあとも何らかの形でつながりを持つ方もいて、成果の 1 つとなりました。 また、教育委員会、行政関係者、市議会議員の方々も参加したことで、実際に大崎市での不登校施策に向けた動きができたことも大きな成果となりました。 一方、民間ベースでの親の会の情報発信には限界があり、まだまだ親の会や不登校支援等の情報が行き届いていない家庭もあります。今後は、情報を必要としている家庭に必要な情報が届く環境作りを進めて行くことが重要であると捉えます。
今後の展望など	・親の会の新規立ち上げ及び他地域への波及 今回の助成期間における親の会の開催の中で、これからフリースクールや子どもの居場所支援、親の会を立ち上げたいと考えている方のご参加もありました。親の会の参加を通して他地域で新たに親の会を立ち上げ、宮城県内での親の会の開催回数が増加することが期待されます。 ・不登校支援に向けた官民連携の構築 親の会にご参加いただいた、大崎市教育委員会や福祉課、スクールカウンセラーの方々とつながることで、大崎市内における不登校支援のための官民連携のネットワークを構築するきっかけができました。行政の縦割りを越え、民間も含めたネットワーク構築の実現に向けて活動を進めて参ります。

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	60,000	
合計	60,000	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
施設利用費	研修室利用費・冷暖房費	8,000	2,400
人件費	講師謝礼・講師交通費	40,000	56,140
宣伝広告費	チラシ印刷費	12,000	3,291
合計		60,000	61,831

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

3、送付必要書類

① 福祉活動助成金 助成活動報告書

プリントアウトしたものを1部郵送、データもメールでお送りください。

② 領収書のコピー (郵送)

③ 成果物 (活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送)

*写真は郵送とメールで送ってください。

不登校・多様な学び を考える親の会

低年齢化する不登校
～「学校に行けない」我が子と共に歩むということ～

「不登校・多様な学びを考える親の会」は同じ立場の親たちが、互いに交流しながら、子どもの不登校や多様な学びについて理解を深める会です。

気持ちを共有することで、親自身が楽になります。また、他の親の話を聞くことで参考になることがたくさんあります。

参加料
無料

〔日時〕 5月21日(日) 午後1:30～午後4:30

〔会場〕 大崎市地域交流センターあすも 研修室

【特別講演】 親子の居場所Clover 代表
遠藤 さち子 氏

第1部のみオンラインでのご参加もできます！

3児の母で、親子の居場所Clover(クローバー)代表。
長女が小1で予期せぬ不登校に。3番目の子が生まれ、
親子で引きこもる日々の中、フリースクールや居場所との
出会いで元気を取り戻す。自身の経験から学校と家以外
の居場所の必要性を強く感じ、2020年Cloverサークル
活動とSNSでの情報提供をスタート。
2021年から参加型のフリースクールとして仙台市若林区
でCloverを運営している。



第1部 1:30～2:40 【特別講演】 ※第1部のみオンラインでのご参加も受け付けます。

低年齢化する不登校～「学校に行けない」我が子と共に歩むということ～

第2部 3:00～4:30 座談会 ※第2部は希望者のみのご参加となります。

＜お申込み・お問い合わせは＞

電話：090-8561-4267 (担当：高橋)

メール：osakiforchildren@gmail.com

■主催：一般社団法人フリースペース道

■後援：大崎市教育委員会

こちらのQRコード
からもお申込
できます



【本イベントは、みやぎ生協福祉活動助成金により運営されています。】

不登校・多様な学びを 考える親の会

「不登校・多様な学びを考える親の会」は同じ立場の親たちやが、互いに交流しながら、子どもの不登校や多様な学びについて理解を深める会です。

気持ちを共有することで、親自身が楽になれます。また、他の親の話を聞くことで参考になることがたくさんあります。

6月18日(日)午後1時30分～4時30分

会場：大崎市図書館 研修室3 (宮城県大崎市古川駅前大通4-2-1)

参加無料 <第1部のみオンラインでのご参加も受け付けております>



【特別講演】 <考える力をもつ子どもたち>

【講師】 認定NPO法人 こども∞(おげん) 感ぱにー

代表理事 田中 雅子 氏

1968年東京生まれ 保育士

2011年3月20日にボランティアとして石巻入りし、子どものあそび場&居場所「黄金浜ちびっこあそび場(現在のプレーパークわたのは)」を地域の人と再建し、現在も活動を継続中。2016年より、『不登校』の居場所フリースクールを開設。社会的自立のサポートを行う。

グッドガバナンス認証(認証番号:2018G(0)0003)取得団体

同時開催!

(親の会へお越しの小学生・中学生・高校生のみなさん)



N-Labo. ~iPadで、君だけのオリジナル作品をつくろう!~
iPadによるモノ作り体験会(研修室4)

第1部 1:30~2:40 特別講演 <考える力をもつ子どもたち>

第2部 3:00~4:30 座談会 ※第2部は希望者のみのご参加となります。

【本イベントは、みやぎ生協福祉活動助成金により運営されています。】

■主催：一般社団法人フリースペース道

■後援：大崎市教育委員会

■協力：多様な学びを共につくる・みやぎネットワーク

お申込み・お問い合わせは

TEL:090-8561-4267 (担当：高橋)

E-mail: osakiforchildren@gmail.com

facebook, twitter, Instagramは「フリースペース道」で検索

こちらのQRコード
からもお申込
できます



不登校・多様な学び を考える親の会

「不登校・多様な学びを考える親の会」は同じ立場の親たちが、互いに交流しながら、子供の不登校について理解を深める会です。

気持ちを共有することで、親自身が楽になります。また、他の親の話を聞くことで参考になることがたくさんあります。

7月23日 日 13:30 - 16:30

【会場】 中新田公民館 研修室I

住所：加美郡加美町字一本杉63（中新田バツハホール向かい）

＜入場無料＞ 定員15名（定員になり次第受付を終了します）

講演会

「不登校の子どもたちの心の変化と成長」

「フリースペース道の新たなチャレンジ」

高橋雅道（一般社団法人フリースペース道 代表）

神奈川県横浜市出身。横浜国立大学大学院工学府物理情報工学専攻。学習塾勤務を通して、生徒のコーチングとマネジメントのノウハウを構築。東日本大震災を機に両親の地元である宮城に戻り、地域貢献の活動をする傍ら昨今の不登校問題に触れる。大崎で居場所を必要としている子どもたちのためのフリースペースを2020年4月に開設。現在に至る。



第1部 13:30～14:40 講演会

- 過去22回開催した親の会でのお話をもとに、不登校の子どもたちの心の様子をお話します。
- フリースペース道が2023年度に取り組んでいる新たな活動をお伝えします。
- 不登校当事者の子が、今までの体験や気持ちの変化、大人たちに伝えたいことを話します。

第2部 15:00～16:30 座談会

- 主催 一般社団法人フリースペース道
- 後援 加美町教育委員会 色麻町教育委員会

お申込・お問い合わせは

TEL: 090-8561-4267 E-mail: osakiforchildren@gmail.com

facebook, twitter, Instagramは「フリースペース道」で検索

こちらのQRコード
からもお申込
できます



【本イベントは、みやぎ生協福祉活動助成金により運営されています。】

身近に宇宙の世界を体感できよう工夫を凝らした。

放映プログラムに、宇宙を探索機で旅している感覚が味わえる「ボイジャー終わりなき旅」を追加。「プラネくん」とあそぼう」はキャラクターの声色を自由に換えられる機能を付け、来場者がスタッフとの会話を楽しめるようにした。

本格利用の記念セレモニーがあり、市内6カ所の幼稚園、保育所などの園児計約200人が子ども向けプログラムを楽しんだ。園児からは「ロケットで宇宙を旅行している気分だった」といった感想が聞かれた。プラネタリウムは放映できる星の数が従来の7万個から1400倍超の1億個に増え、4月29日に先行オープンした。小野寺正己台長(58)は「海外の人や聴覚障害者が楽しめるように、日本語と英語の字幕を設けた。星がすごくきれいに見えるようになった」と来場を呼びかけた。

選択肢増やし 不登校ゼロへ

大崎で講演会

「不登校・多様な学びを考える親の会」が18日、大崎市図書館であり、石巻市のNPO法人「こども∞(むげん) 感性に」の田中雅子代表理事が「考える力をもつ子どもたち」と題して講演した。

田中さんは2016年にフリースクール「ぼはつく」を開設。子どもの居場所として安心感を与え、自ら育つ力を与える方針を説明し「最初は無表情だった子が笑い始めると心が動くスイッチが入る。まずは毎日笑って過ごせるようにしてあ



震災後の子どもの遊び場づくりから始まった活動を振り返る田中さん

げたい」と話した。

その上で「子どもは考える力を持っている。ただ、保護者だけで信じ続けることは難しい。理解してくれる存在が必要」と強調。「フリースクールやホームエデュケーションといった選択肢を増やすことで『不登校』という言葉をなくしたい」と思いを語った。

大崎市岩出山でフリースクールを運営するフリースペース道(高橋雅道代表理事)が主催し、オンラインを含む約10人が参加。出席者との座談会もあった。

東北大下水調査チーム

感染性胃腸炎

注意呼びかけ

ノロ増加で

仙台市内の下水から採取したノロウイルスの濃度が感染流行の基準値に近づいたとして、東北大学大学院工学研究科の佐野大輔教授(環境水質工学)の研究グループは19日、ノロウイルスが原因となる感染性胃腸

炎への注意と予防を呼びかけた。

研究グループによると、6月15日に4回採取した下水中のノロウイルス濃度が、昨シーズンの流行期の数値に近づいた。ウイルス濃度と感染性胃腸炎患者数の推移は連動するという。

例年は11月に感染者が増え始め、12月1月にピークを迎える。佐野教授は「例年と異なるパターンで感染者が増えている。手洗いや二枚貝の加熱調理などの対策を講じてほしい」と話す。



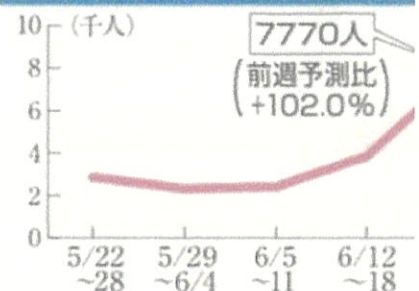
宮城きょうのお天気は...



東部は南東のち南。西部は東。
1.5のち1℃。あすは1℃。

新型コロナ相談窓口
県と仙台市の
受診情報センター
(0120)056203
24時間対応

仙台市内 コロナ新規感染者



不登校・多様な学びを考える親の会

古川で講演や座談会

「不登校・多様な学びを考える親の会」が

18日、大崎図書館で開かれた。認定NPO法人こども∞(むげん)感ばにー(石巻市)の田中雅子代表理事による特別講演や座談会が行われ、多様な学びへの理解を深めた。

田中代表理事は、東京生まれの保育士。東日本大震災をきっかけに石巻市へ移住し、子どもの遊び場と居場所「プレーパーク」やフリースクールを開設し、社会的自立をサポートしている。

この日は、「考える力をもつ子どもたち」と題して講演。運営するフリースクールでは「心の休憩」「自ら育つ力」「人との出会い」を大切に、子どもの

した。

復学や進学、就職と

いった社会的自立については「自分の将来を

考えていない子はいない。私たちにできるこ

とは子どもの可能性を

信じること」と語り、

その上で「保護者だけで可能性を信じ続けるのは難しい。不登校を

理解してくれる人の力が必要になる」と強調した。

課題として、子ども

の学びの選択肢が少ないことや不登校への支援が希薄なことを指摘。「大人の役目として

て選択肢を増やすことが任務であり、急務。明るい未来が見えるような活動をしていき

い」と話した。

親の会は、大崎市岩

出山で不登校児童生徒

(高橋雅道代表)が主催。オンラインを含め11人が参加した。

講演を前に、高橋代表は「国のネットワー

ク会議にフリースクールなど民間も参加できるようにになった。少しずつ前進している一方、悩んでいる子ども

各種全国大会へ出場

少林寺拳法宮城美里スポ少

美里町を拠点に活動

している「少林寺拳法

宮城美里スポーツ少年

団」の団員31人と卒団

生4人が今月、大会予

選で優勝するなどし、

各種全国大会への出場

を決めた。

出場者は次の通り。

◇全国高校総体▽男

子組演武Ⅱ木村京真

はたくさんおり、孤立

している親がいるのも

事実だ」と訴えた。

文部科学省の調査に

よると、2021年度

の不登校児童生徒数は

24万人超で、20万人を

超えたのは初めて。県

の対象児童生徒数は5

200人を超える。

独演武Ⅱ高橋結希(東

北高1年)▽男子団体

演武Ⅱ木村京真(東北

高3年)・佐藤聡太(同

2年)・高橋結希(同

1年)▽女子単独演武

Ⅱ渡邊紗衣(東北高1

年)▽女子団体演武Ⅱ

渡邊紗衣(東北高1年)

山中2年)▽経濱正少

年Aの部Ⅱ今野光(不

動堂小4年)・櫻井晴

(鹿島台小3年)▽組

演武Under8Ⅱ高

橋慶志郎(北浦小3

年)・瀬ヶ沼悠斗(中

卒小3年)▽団体演武

Under15Ⅱ小茄子

川蓮人(南郷中3年)、

和田敏弥(不動堂中3

年)、山田圭太(古川

中3年)、佐々木煌大

(古川中2年)▽男子団体演

武Ⅱ小茄子川蓮人(南

郷中3年)・和田敏弥

(不動堂中3年)、山田

動堂中3年)、齋藤太

一(同1年)・佐藤楓

太(同)▽男子単独演

武Ⅱ佐々木煌大(古川

中2年)▽男子団体演

武Ⅱ小茄子川蓮人(南

郷中3年)・和田敏弥

(不動堂中3年)、山田

圭太(古川中3年)・

佐々木煌大(同2年)、

高橋広睦(河南西中2

年)・比佐航史郎(松

山中2年)、齋藤太一

(不動堂中1年)・佐藤

楓太(同)

山中2年)▽経濱正少

年Aの部Ⅱ今野光(不